

現在、19日(土)に迫った学習発表会に全校一丸となって取り組んでいる川合小です！

6年生 国語で「まちづくり」をプレゼン提案！

11月8日(火) この日2時間目の6年生国語の授業に二人のお客様をお迎えしました。

これはそもそも6年生の国語「町の未来を描こう」という教材の読み取りを通して、図書館を活用しながら必要な情報を集め関係付けながら、大田市のまちづくりの未来をグループでプレゼン提案するという大きなまとまりのある学習です。

せっかくなら伝える相手を、まちづくりに関わっておられる川合につながるのある大人の方にしたいということから、武田教育長さん、川合まちづくりセンター長の小林さん、市議会議員の根宜さんの3名をお招きしようということになったのです。当日、市教委からはどうしてもご都合がつかず、前述のお二人が参加してくださいました。



大田市の観光客などの数字を引っ張ってくる、比較検討する、それを受けて提案するなど感心しましたよ。インスタなど皆さんの世代らしい提案だったし、プレゼンもとてもハイレベルでした！

子供達はとても緊張していましたが、大人の方の胸を借りて精一杯のプレゼンができ、達成感や満足感を感じていました。ご来校いただいた皆様、そして応援していただいた市教委の皆様、本当にありがとうございました。

自然を生かすなど、身近ないテーマで提案を考えていますね。アピールするには自分自身が理解していないとできないけれど、しっかり理解できていました！

【校長コラム】
～伸びる子、伸びようとする子～



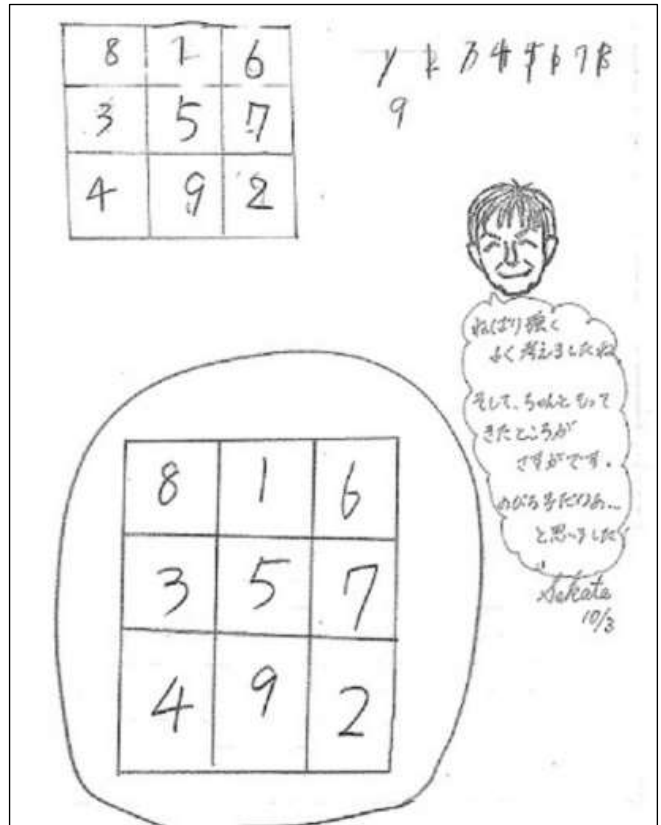
少し前のことになります。ある学級の先生が出張で不在だったため、算数の授業に入りました。学習が予定よりはやく終わったので全員に問題を出しました。「魔法陣」です。九つのマスに1～9までの数を1回ずつ入れて、たて・よこ・ななめどこを足しても同じ数になるように当てはめるとい問題です。

結局、その時間に解けた子は一人もいなかったもので、私は「もし分かった子がいたら、いつでもいいから持っておいで」と言い残して教室を去りました。

それからずいぶんたって、ある子が校長室にノートを持って訪ねてきました。ずっとあの問題を考えていたそうです。

私はその子のノートにメッセージを書いて返しました。

「ねばり強くよく考えましたね。そしてちゃんともってきたところがさすがです。のびる子だなあ、、、と思いました！」



話題を変えます。毎月、子供達は詩を覚え、私の前で誦んじて合格していきます。(ご家庭でも協力してもらっています。本当にありがとうございます。)

どの月も月はじめ3日以内に合格するとシールを貼ることができるルールがあります。だからその間に合格しようと張り切る子は多いです。

しかし、4日目以降でも心底ほめてあげたくなる子もいます。詩の雰囲気にあった声で朗々と誦んじる子、覚えるための努力や工夫をした跡がプリントにたくさん残っている子、、、早く合格することだけが全てではありません。でも、シールをあげることもできません、、、そんな子には合格のスタンプを1つではなく2つ押してあげます。そしてその子とこう約束します。「2つもらったことは、〇〇さんと校長先生とのや・く・そ・く・ね！」(別に他の人に知れてもいい約束なのですが、、、)その子にはこっし、いつも以上に元気よく、そして礼儀正しく校長室を出ていきます。

子供の心に灯がともる。それだけで子供は自ずと伸びようとし出します。でも動かないかもしれない、、、ならばまたどこかで心に火を灯す！その繰り返しを大切にしたいと思います。